

# トンガ王国の 歯科保健啓発週間の取り組み



○遠藤真美<sup>1,2)</sup>・竹内麗理<sup>2,3)</sup>・河村康二<sup>2,4)</sup>・河村サユリ<sup>2,4)</sup>・内田千鶴<sup>2,4)</sup>・横山恭子<sup>2,4)</sup>・田口千恵子<sup>2,5)</sup>・小林清吾<sup>2)</sup>・平塚浩一<sup>3)</sup>・野本たかと<sup>1)</sup>

1) 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座  
2) 南太平洋医療隊  
3) 日本大学松戸歯学部生化学・分子生物学講座

4) カワムラ歯科医院  
5) 日本大学松戸歯学部公衆予防歯科講座

## 緒言

南太平洋医療隊は、1998年からトンガ王国（以下、トンガ）においてヘルスプロモーションの考え方を軸に良好な歯科保健行動の獲得を通してトンガ国民の健康の実現を目的として現地の歯科医療スタッフ（以下、現地歯科スタッフ）との協力のもと、歯科保健医療ボランティア活動を継続している。内容は、就学時前幼児のう蝕予防対策、小学校でのフッ化物洗口事業や保健教育課程制度の確立、中高生・成人のNCDs（non-communicable disease）対策、障害児・者への適切な歯科保健行動の定着を推進および現地の歯科医療者および教育関係者の人材育成で、その成果を本学会で発表してきた。

今回は、2016年に実施したoral health awareness week（歯科保健啓発週間）の活動を報告する。

## Oral health awareness week

### 【テーマ】

・Oral health week and the Disability

### 【目的】

・トンガ国民に対して正しい歯科の知識の伝達および適切な歯科保健行動を促す。  
・本年は、特にスペシャルニーズのある国民も健康になる権利があることについて当事者だけでなく全ての国民に対して啓発すると共に、スペシャルニーズのある方と現地スタッフが直接、触れ合いながらQOLを維持した生活には歯科保健が重要であることへの理解を促す。

## スケジュール：2016年8月21日～27日

※：テレビ局およびラジオ局の取材あり

### 5日前：16日（火）

PM：口腔保健の重要性およびOral health weekに関するテレビ番組の企画・撮影

### 1日目：21日（日）

AM：日曜礼拝の教会での牧師からの講和※

### 2日目：22日（月）

AM：小学校での啓発活動※

PM：障害児・者、要介護者への訪問事業

### 3日目：23日（火）

AM：刑務所での啓発活動※

PM：障害児・者、要介護者への訪問事業

ラジオ生放送で口腔保健に関する質問に回答

### 4日目：24日（水）

AM：保健所で乳幼児の歯科健診およびフッ化物歯面塗布※

PM：障害児・者、要介護者への訪問事業

### 5日目：25日（木）

AM：理系高校生に対する歯科診療室でのオープンディ開催※

PM：障害児・者への訪問事業

### 6日目：26日（金）

AM：障害者施設での啓発活動（オーラルフェスティバル）※

PM：アグリカルチャーショー（農業祭）にてブース展示※

### 7日目：27日（土）

早朝：ラジオ体操およびウォーキングラリー※

## 活動内容

### 【テレビ局、ラジオ局などメディアとの協力】

現地歯科医師と共に口腔と健康および全身疾患との関連、歯科疾患の予防、障害者の社会参加に関するテレビ番組を企画し、health week5日前に撮影・放送し、その後何度も再放送した。

また、スケジュール中に※を記載した活動に関してメディア取材を依頼し、当日および翌日のニュースで放映し、国民への周知をはかった。



### 【日曜礼拝での牧師からの講話】

トンガ本島のCatholic church-Nukualofa(カトリック教会)の日曜礼拝に現地歯科スタッフと全員で参列をし、牧師から礼拝参列者に対し、歯科保健の重要性について講話を行ってもらった。



### 【小学校および刑務所での講和】

小学校では小学生への健康教育、刑務所では慰問を含めた講和を行った。

ヘルスプロモーションオフィス、NCDナースと共にう蝕、歯周病、たばこ、糖尿病などについて講話を展開したあとで、それらについて理解を促しやすくするためにトンガ家族計画協会所属の劇団FILITONUに口腔保健に関する寸劇を依頼し、好評であった。



### 【保健所での乳幼児対象事業】

保健所にて村の乳幼児、近隣の幼稚園児を対象とした歯磨き指導、歯科健診、フッ化物歯面塗布、歯ブラシ寄付を行った。寄付した歯ブラシに名前を書くことを提案したところ、幼稚園の先生がすぐに記名をした。王子様が対象者として事業を受けたことでテレビ放映ではトップニュースとなった。



### 【国立病院歯科診療室のオープンディ】

理系の中でも医療に興味のある高校やカレッジの学生を対象に、国立バイオラ病院歯科室を訪問して勉強するオープンディを開催した。歯科医師、歯科セラピスト、ヘルスプロモーションのディレクター、ナースからの健康についての講話後、歯科診療室に設置した口腔保健に関する項目別のブースで歯科スタッフが学生の質問に回答した。



### 【障害者施設でのオーラルフェスティバル】

障害者の施設利用者を対象にオーラルヘルスフェスティバルを行いました。参加者の緊張が強かったため開始に先立ちトンガ式ということでダンスをみんなで踊ったあとで、口腔保健に関する講話、参加者からの歌、FILITONUによる寸劇、歯科健診を行った。歯科健診を待機している時間を利用して、歯みがきという題名で絵を書いてもらいながら描画という活動を通して歯みがきの大切さや磨き方などをスタッフが指導した。



### 【障害児・者および要介護者への訪問事業】

発達期の障害児・者、要介護高齢者、精神疾患患者、糖尿病による下肢切断や視力低下の方など、在宅医療が必要な方に訪問口腔内診査と各個人に合わせた器質的および機能的口腔ケアの実施と指導を行った。対象者の選定は、事前にラジオでoral health week中に歯科スタッフの訪問を希望するトラブルを抱えている場合、国立病院に名前と主たる障害や疾患、電話番号を伝えるようにと放送したところ連絡のあった希望者から選択した。



## 考察

トンガ国民の歯科保健行動は良好に変化しているものの完全とは言えず、現地スタッフが2014年にoral health awareness weekを設定した。現地スタッフは本隊との活動を通して専門職としての自覚・自信が生まれ、現地のニーズに合わせて独自に活動を展開するようになっており、礼拝での教育効果に注目したのも現地スタッフである。実際、テレビで礼拝を見たとき口の健康の相談を道端で受けたことも多く、教育効果の高さを実感した。一方で障害者の対応に現地スタッフのみでは困惑していた。今後は全事業を現地スタッフで実現できるよう人材育成をはかっていきたい。

